

まちづくりと子育て支援

東海村長 山田 修
令和5年6月24日

本日のお話

1 本村のまちづくり

(1) 総合計画 (2) 令和5年度の最重点施策

2 今後に向けて

(1) 課題と対策 (2) 原子力政策

3 子育て支援

(1) 本村の特徴 (2) 当面の課題 (3) 令和6年度に向けて

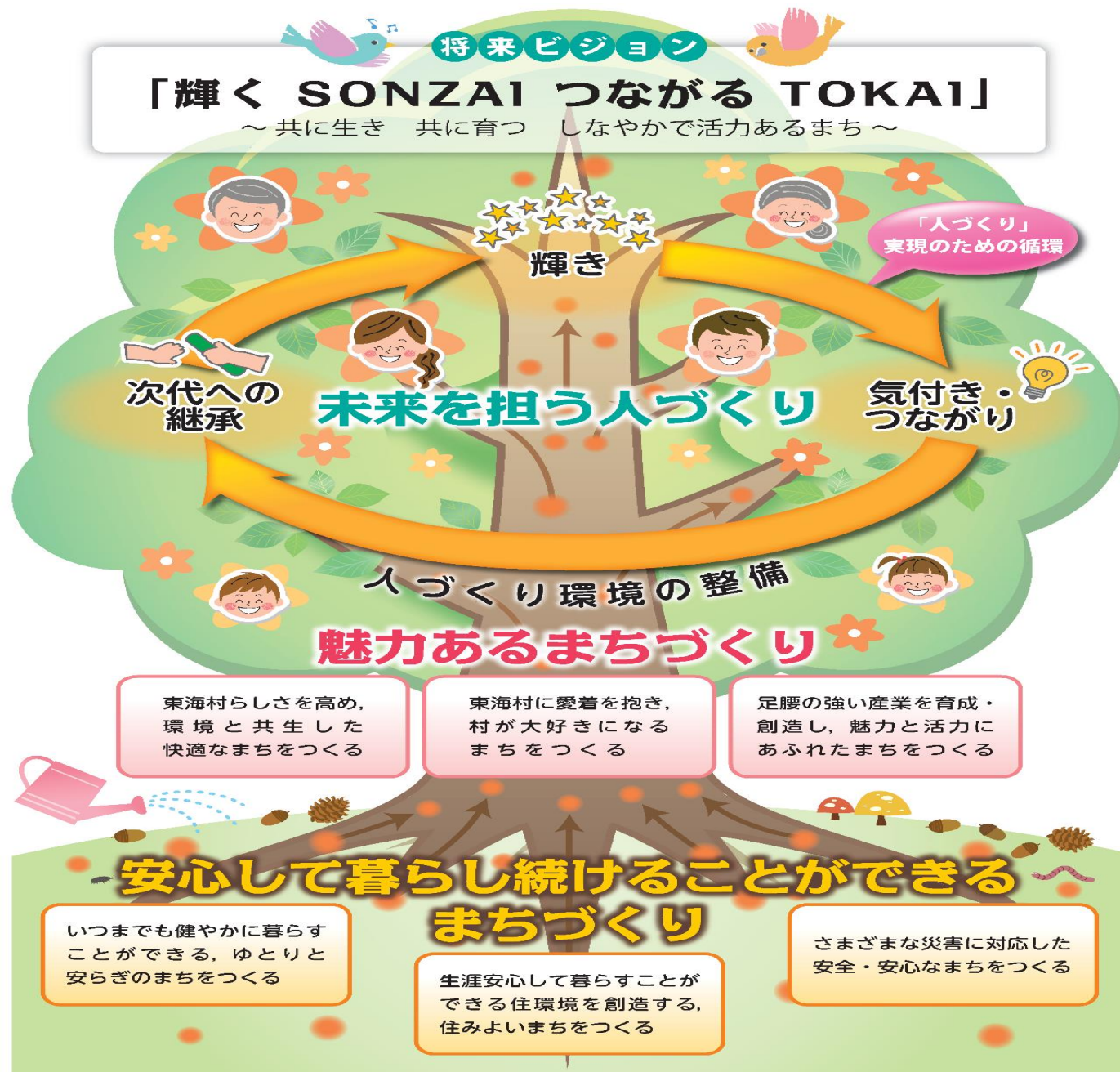
1 本村のまちづくり

(1) 総合計画

◎「東海村第6次総合計画(R2～R6)」

- ・村政運営の基本となる考え方を網羅したもの
- ・従来は、10年間で策定していたが、時代の変化に合わせて5年間に
- ・福祉や教育などの分野ごとの取組は、個別計画に委ねる
- ・分野横断した取組や「持続可能なまち」実現に必要な取組を示す
- ・毎年度、実施計画を策定しながら、施策を推進している
- ・次期計画(R7～)策定に向けた取組を始める

第6次総合計画概要



1 本村のまちづくり

(2) 令和5年度の最重点施策

- ①「選ばれる」まちづくりの推進 (シティプロモーション推進事業)
- ②デジタル化の推進 (スマート農業推進支援事業)
- ③グリーン化の推進 (省エネ家電導入促進事業)
- ④人づくりの推進 (6・3・3plusとうかいつ子育成プロジェクト)
- ⑤生活基盤の整備推進 (中央4号公園整備事業)
- ⑥セーフティネットの推進 (出産・子育て応援パッケージ)

* ()内は、主な新規事業

2 今後に向けて (1) 課題と対策①

人口減少

- 子育て支援策の充実
- 更なる転入者の確保

地域共生

- 支え合える地域づくり
- 新たな活動機会創出

2 今後に向けて (1) 課題と対策②

DX・GX

- デジタル化の推進
- 脱炭素化の推進

防災対策

- 防災体制の充実強化
- 原子力防災の徹底

2 今後に向けて

(2) 原子力政策①

【安全行政】

- ・安全協定等の運用に基づき、事業活動をチェック
- ・「東海村原子力安全対策懇談会」により、第三者視点でチェック

【地域振興】

- ・電源立地地域対策交付金(約15億円/年)等を有効に活用
- ・原子力関連産業の動向を見極めながら、地域活性化策を検討

2 今後に向けて

(2) 原子力政策

【事業所の現況】

- ・研究施設は、概ね運転が再開され、研究開発を推進
- ・燃料加工施設は、一部で操業が再開され、製造作業を推進
- ・東海第二発電所は、安全性向上対策工事が継続中

【東海第二発電所の再稼働問題】

- ・広域避難計画策定に向けた作業を継続中
- ・今後、「国の緊急時対応」、「安全協定の運用」等を踏まえ判断

3 子育て支援

(1) 本村の特徴①

【経済的支援】

- ・18歳まで医療費完全無料(自己負担・所得制限なし)
- ・各種予防接種や定期健診等が無料

【伴走型支援】

- ・とうかい版ネウボラの推進(主に「はぐ♥くみ」で対応)
- ・子育て支援センターの充実(村内に多数配置)

3 子育て支援

(1) 本村の特徴②

【きめ細かな支援体制の整備】

- ・病児・病後児施設「るぴなす」の運営
- ・発達支援センターや教育支援センターの運営

【教育環境の充実】

- ・小1・2の30人学級、スタディ・サポーター等の配置
- ・エンジョイサマースクールなどの体験活動が豊富

3 子育て支援

(2) 当面の課題

- 待機児童はゼロであるが、入所待ち児童を多く抱えており、保育ニーズに応えていく必要がある。施設整備と保育士確保が課題。
- 更なる経済的支援策を検討する。子育て世帯は、幅広いため、ターゲットと目的を明確にし、優先順位を決める。財源確保も課題。
- ライフステージに合わせて、必要な支援策も異なり、また、多様性を尊重することも踏まえて、前例に囚われない施策展開が必要。

3 子育て支援

(3) 令和6年度に向けて

【国の少子化対策を踏まえて】

- ・異次元の少子化対策をベースに村独自策を検討

【就学前の子どもを持つ世帯への支援策】

- ・保育環境の更なる充実。新たな村松幼稚園のスタート。
- ・保育園、幼稚園、家庭保育等の実情に合わせた支援検討